



(第一圖) みやこじまつづらふぢ (*Cissampelos insularis* MAK.)

(昭和三年八月十一日薩州川邊郡西南方村坊ニテ撮影)

○みやこじまつづらふぢノ自生地ヲ見ルノ記

藥學博士 落合英二

余ハ數年來防己科植物ノ成分ヲ探ツテ居ルノト生來ノ旅行好キカラ閑サヘアレバ防己ノ類ノ自生地ヲ遍歴シテ居ル

昨年モ其目的デ九州ニ行キ夏休ヲ棒ニ振ッタノミナラズ生來ノ無茶カラ休ノ後半ハ靜養ニ費シテ仕舞ッタガお蔭デみやこじまつづらふぢノ大群ニ接シ甚ダ愉快デアッタ

みやこじまつづらふぢ (*Cissampelos insularis* MAK.) ハ本邦ニ於テハ一屬一種ノ特產品デ其產地ハ琉球、九州、紀州ニ限定サレテ居ル多年生ノ蔓本植物デ實ニ東京植物學雜誌第二十四卷ニ始メテ牧野先生ノ命名發表サレタモノデアアル其詳細ハ省略スルトシテ余ガ昨年田代善太郎氏ノ好意デ實見スルコトヲ得タモノハ鹿児島縣河邊郡西南方村

(第二圖) みやこじまつゐらふち (*Cissampelos insularis* MAK.)

(同上)

坊ノ民家附近ニアツテ甚ダ能ク發育繁茂シ
 テ居タ其生育範圍ハ極メテ廣大ナモノデア
 ツタガ今數字ヲ示ス様ナ野暮ナコトハ止メ
 テ第一圖ノ群落ト上方ニアル民家ノ大サト
 ノ割合ヲ比較シテ其範圍ヲ想像シテ貰ヒタ
 イ
 今之ヲ其下カラ見タモノガ第二圖デアルガ
 是レデ見レバ澤山ノみやこじまつゐらふち
 ノ蔓ガ樹幹ニ一面ニブラサガツテ居ルノガ
 見ラレル盛觀ヲ呈シテ居タ、之ヲ往年長井
 長義博士ノ邸内デ空シク落命シタ(其寫眞
 ハ本誌第四卷第二號ノ口繪ニ出テ居タ)お
 ほつゐらふちノ古木ナドニ比較スルト到底
 同日ノ談ニハナラナイ
 實ハモット大キク撮影シタカッタノデアッ
 タガ近クデハトモ現在ノ「カメラ」ニ收
 メルニハ餘リニ大キイノデ残念ナガラ全體
 ヲ遠方ヨリ寫シテ來タノデアアルガ其儘筐底
 ニ秘藏スルノモ残念ダカラ本誌ノ紙面ヲ拜

植物ノ學名ニ使用セル種名ノ解釋

借シテ同好ノ士ニオ目ニカケテオク

○植物ノ學名ニ使用セル種名ノ解釋 (前ヨリ續ク)

牧野 富太郎

rubens.	赤色ノ	Sieboldi.	シールボルト氏(獨逸ノ學者)ノ
rufinervus.	赤褐色ノ脈アル	Sieboldianus.	同上
rufus.	赤褐色ノ、赭褐色ノ	sinensis = chinensis.	支那ノ
saccharatus.	砂糖ヲ生ズル、甘味アル	sinicus.	同上
sacchariferus.	砂糖ヲ有スル	spathulatus.	筥形ノ
sachalinensis.	樺太ヨリノ、樺太ニ在ル	spicatus.	穗狀ノ
sativus.	播種ノ、耕作シアル	spiciformis.	穗狀花狀ノ
saxifragaeifolius.	ゆきのした屬(Saxifraga)ノ如キ葉	spicigerus.	穗狀花ヲ有スル
semiplenus.	半重瓣ノ、半八重咲ノ	spinosus.	刺針ヲ有スル
senescens.	灰色ノ	spinosissimus.	極多ノ刺針ヲ有スル
sepiarius.	藩籬ヲ成セル	stoloniferus.	匍枝ヲ有スル
serratus.	鋸齒アル	striatus.	線條アル、縱溝アル
sessilifolius.	無柄葉ノ	strictus.	勁直ナル、眞直ナル
sessilis.	無柄ノ、無梗ノ	sulcatus.	有溝ノ
sibiricus.	シベリアノ	tataricus.	韃靼ノ